

2022(令和4)年度

# 事業報告

2022年4月1日から  
2023年3月31日まで

公益社団法人 日本ラクロス協会



# 要 旨

## 【事業概況】

コロナ禍における2年間の困難を乗り越え、ラクロスコミュニティは、本格的に事業の再起動を押し進めました。Bravely Forward(感染症対策タスクフォース)を継続し、地区リーグ戦、新人戦、全国大会、ジュニア大会等、安全に配慮しながら開催しました。世界各国が主な活動を停止する中、日本国内の活動を止めなかったことにより、4つの世界大会で、各日本代表は好成績を残すことができました。また、2020年に2000人まで半減した学生新人獲得は、新歓活動を全国展開し、3000名超の水準まで回復しました。JLAとして大切にしている、対面での学生・クラブのボランティア運営活動が本格的に再開しました。

[大会運営] 各選手権大会・各地区リーグ戦等、公式戦の正常化と、運営ノウハウの再構築により、事業の本格的な再開を進めることができました。関西地区では観客動員に注力し、中四国地区では新人戦の全国大会を岡山県にて初開催し、地区の活性化・独自運営も改めて軌道に乗りました。

[資格制度] 審判資格・指導者資格の制度高度化を図りながら、質と量の拡充を推進しました。

[日本代表] ワールドゲームス@米国にて、男子 SIXES 代表は初の銅メダルを獲得、女子 SIXES も善戦しました。女子世界大会(WC)@米国では5位、男子 U21WC で6位と、強豪国の一角として、将来に繋がる戦績を残すことができました。

[普及] 関東地区で、ジュニア(小学生)対象の初めてのリーグ戦が開催され、中高生世代の取り組みについての議論も開始しました。

[マーケティング] ブランドデザインパートナーによる日本代表サポート、Musha プログラム継続事業化、Japan Lacrosse Founders のサービス向上を推進しました。日本代表の価値の可視化・再定義を行い、今後のパートナーシップ推進の整備を行いました。

[広報] rtv社と連携したオンライン配信事業を拡充し、誰でも試合映像を見れるプラットフォームを強化しました。公式WEB・SNS情報発信の頻度も増加し、非会員向けにもJLAの活動を可視化し、公開しました。協会機関誌、大会パンフレット等のオンライン発刊に加え、幾つかの媒体では紙での発刊も実施しました。WCでは、海外メディアに働きかけ、日本代表の試合のオンライン配信を実現し、世界のラクロスの観戦機会を提供しました。

[安全対策] 医科学セミナーの開催、アンチ・ドーピング委員会の活動もスタートし、選手の安全と

健康の啓蒙活動を実施しました。

[ガバナンス] 法人設立以来、経理・総務基盤の高度化を進め、2022年8月1日に内閣府より公益社団法人として認定されました。

## 【決算概況】

会計方針変更により、フレッシュマンズキャンプの旅行代理店委託分(旅費)について、協会収入(参加費)及び支出(事務委託費)ともに不算入としたため、通期での収支ともに予算対比約100百万円減となりました。通期の経常収益は、決算期変更前の2021年度実績対比+12%の302百万円(予算対比▲28%)、内、会費収入は同▲7%の162百万円(同▲7%)となりました。会費収入はコロナ禍の影響の底打ちを確認したもののほぼ横ばい、一方で各地区における大会・他事業の再開で、参加費やチケット収入が増加しました。

通期の経常費用は同+57%の313百万円(予算対比▲28%)となりました。運営スタッフの交通費、日本代表活動、大会再開による施設使用料、大会パンフレット制作物等、事業活動の再開に伴う支出が増加し、コロナ禍で停止していた組織の活性化が進みました。引き続き、無駄な費用を抑制する構造を維持しつつも、地区活性化を目的とした予算を活用し、冷え込んだ地区・部門の再起動をはかった年度となりました。

一般正味財産増減(通期最終損益)は、日本代表活動の海外遠征未実施や、期初には見込んでいなかった助成金収入等もあり、予算対比で+10百万円、純資産は134百万円で着地しました。

# 事業活動

## 【公益目的事業の内容】

日本におけるラクロスの普及・振興を通じた、スポーツ文化の創出・人材の育成・地域社会の発展および国際親善の促進を実現するための活動

## 【趣旨(目的)】

日本ラクロス界を統括し代表する、国際ラクロス連盟(World Lacrosse)に認定された唯一の団体として、ラクロスを通じた豊かなスポーツ文化の創造、及び人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献し、国際親善に寄与することを目的とする。

また、当法人は全ての事業を上記目的の達成手段として実施しており、全国各地区及び全年代での競技活動を実現するためには不可分な事業であるため、当該事業を相互に関連するものとして実施し、一つの公益目的事業としてまとめている。

## 【事業の内容】

### (1) 審判資格認定事業

ラクロス競技の試合において選手およびチーム間に公正、安全かつ円滑に試合をコントロールするための審判員の資格認定テストを行っている。審判員の資格は知識、技能により男子が1～3級、女子が1～4級に分かれており、各級決められた試験において合格し、資格取得に必要な講習会に参加することにより認可、付与される。

#### ① 2023年新規審判員資格試験(オンライン試験)

- 日程:2023年2月12日(日)
  - 受験料:1,500円/1名
  - 男子競技3級審判員:申込者数2,021名、合格者数302名  
女子競技4級審判員:申込者数1,713名、合格者数575名
- ※ 試験合格者は実地講習受講後、各級が付与される。

#### [各級の保有人数(2023年3月末現在)]

- 男子競技  
1級:31名 / 2級:73名 / 3級:221名
- 女子競技  
1級:34名 / 2級:91名 / 3級:268名 / 4級:277名

## **(2) 指導者資格認定事業**

ラクロス競技の正しい知識と技能を有するラクロス指導者を養成するために、公認指導者の認定の講習会をS・A・B各級に分けて行っている。(2022年度はS級指導者認定講習未実施)

### ① A級指導者認定講習(5日間)

- 開催日程:  
第1ターム:2022年2/12, 2/13, 2/19, 3/10, 3/16  
第2ターム:2022年6/15, 6/16, 6/22, 6/23, 6/30  
第3ターム:2022年9/3, 9/10, 9/15, 9/21, 9/29  
第4ターム:2023年1/8, 1/9, 1/20, 1/22, 1/28  
(※2022年度資格(4/1~有効)対象の講習である2022年2,3月の実績も参考記載)
- 総受講者数:受講 60名、認定 48名
- 受講料:30,000円/1名

### ② B級指導者認定講習(1日間)

- 開催日程:  
2022年3/5, 3/6, 3/16, 3/19, 3/20, 3/24, 4/7, 4/10, 4/14, 4/20, 4/23,  
4/24, 5/11, 5/14, 5/19(計15回)  
(※2022年度資格(4/1~有効)対象講習である2022年3月の実績も参考記載)
- 総受講者数:受講 318名、認定 289名
- 受講料:5,000円/1名

### **[各級の保有者数(2023年3月末現在)]**

SS級:3名 / S級:28名 / A級:520名 / B級:1131名

## **(3) 審判養成事業**

審判資格を持った者を対象に、試合における安全性・公平性・そしてラクロスの競技特性を確保することができるような審判を育成することを目的に講習会を行っている。

### **[主要地区における開催実績]**

#### ① 男子競技審判マニュアル改定に伴う講習会

- 開催日程:2022年4月9日(日)
- 場所:東京・駒沢第2球技場
- 参加者数:25名
- 形式:実施講習

## ② 女子競技 I 級査定者育成講習会

- 開催日程 2022 年 5 月～2023 年 3 月の期間、毎月 1 回開催
- 場所: 東京・江戸川陸上競技場、大井ホッケー場サブピッチ、等
- 参加者数: 各回 5 名
- 形式: 座学講習、実施講習

## ③ SIXES 女子審判員地区担当者講習会

- 日時: 2023 年 1 月 21 日(土)、22 日(日)
- 場所: 東京・大井ホッケー場サブピッチ
- 参加者数: 18 名
- 形式: 実施講習

## **[全国における開催実績]**

### ④ 2022 年度 JLA 公認男子競技 3 級、女子競技 4 級審判員資格取得者講習会

- 開催日程: 2022 年 3～5 月
- 場所: 7 地区(北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州)に分け、それぞれで開催
- 参加者数: 800 名
- 主な内容: 審判員の心得、各級の説明、今後の講習会等について

### ⑤ 2022 年女子世界大会審判団報告会 (YouTube ライブ配信)

- 開催日程: 2022 年 10 月 29 日(土)
- 参加者数: 70 名(当日)、403 回(アーカイブ視聴数)
- 主な内容: 審判員が見た世界の四強(アメリカ、カナダ、イングランド、オーストラリア)とは。審判員をめぐる文化の違い、審判員が間近で見た今大会四強の強さの秘密。

## **(4) 選手育成事業**

選手を対象に、試合におけるルールの周知やメンバー間のコミュニケーション、競技を通じて心身の健全な育成をすることを目的に講習会を行っている。

### ① 主要地区における学生競技団体の責任者(主将)に対する研修合宿

- 目的: 主将同士の対面交流、各主将の視座を上げ地区としての競技レベル、運営レベル向上
- 開催日程: 2023 年 2 月 27～28 日(宿泊形式)
- 場所: 大阪・ロッジ舞洲
- 参加者: 60 名

### ② 大会運営スタッフ(ボランティア)に対する研修合宿

- 目的:大会運営スタッフの動機付けとモチベーション向上。地区を跨いだ交流による全国的な大会運営レベルの強化。
- 開催日程:2022年12月27~28日/宿泊形式
- 場所:大阪・ロッジ舞洲
- 参加者:51名(東海地区・関西地区から参加)

### ③ MUSHA(「学びのプラットフォーム」)の実施

企業・団体との連携し、競技者向けのプログラム提供を行っている。

#### i. 試合動画の配信プロデューサー講座

- 概要:各チーム主体でライブ配信を行い、チームの魅力やラクロスの面白さを発信出来るようになるためのプログラム。ライブ配信の基礎知識や事例共有から撮影方法、アナリティクスの見方など幅広く学ぶことができる。
- プログラム提供:株式会社 rtv
- 開催日程:2022年6月23日、6月30日、7月7日(木)
- 参加者数:48名

#### ii. リクルーティングワークショップ

- 概要:新入生リクルーティング(勧誘活動)担当者に対するワークショップ型のオンライン講習。自らのチームの魅力を言語化し、他チームの魅力を聞いて新たな気付きを得た上で、仮想の1年生に対するアプローチ方法を考える、実践形式のプログラム。
- プログラム提供:株式会社リクルート HR エージェント Division
- 開催日程:2023年1月14日、1月20日
- 参加者数:39名

#### iii. チームビルディング講座

- 概要:チーム全員で目標達成に向けて取り組んでいくために、自分らしいリーダーシップを発揮し、メンバーを巻き込んでいく方法やチームの本当の課題に目を向けた適切な目標・施策の設定などチームマネジメントの基礎を身につけることを目指すプログラム。
- プログラム提供:株式会社 Criacao(クリアソン)
- 開催日程:2023年1月26日、2月9日
- 参加者数:42名

#### iv. 多様性とコミュニケーション講座

- 概要:スポーツとダイバーシティ、スポーツとセクシュアリティ・ジェンダーをテーマに、「みんながパフォーマンスを発揮できるチームづくり」を学び考えるプログラム

- プログラム提供:株式会社 Revolt
- 開催日程:2023年2月15日
- 参加者数:11名

#### v. ラクロスアナリティクス・ブートキャンプ

- 概要:スポーツアナリストより、スポーツにおけるデータ分析のトレンド・他スポーツでの利用方法などを学ぶプログラム
- プログラム提供:データスタジアム株式会社
- 開催日程:2023年3月9日、3月16日
- 参加者数:71名

### **(5) 初心者体験会事業**

正しいラクロスの技術指導を実施することによって、地域に幅広い競技層を開拓し、競技人口の拡大と新人選手の確保・育成に努め、ラクロス競技を通じて地域スポーツの振興を促進し、地域社会の活性化と健全な発展に貢献している。

#### ① キッズ・ジュニアラクロス体験会

協会や地域のラクロス団体が中心となり行う、ラクロスに興味のある者であれば参加できる(会場等の収容可能人数、先着順等の条件はあり)体験会。主に未就学児、小学生を対象とし、安全にラクロスを体験できるようにジュニアラクロスのルールと用具の使い方の指導を行っている。

#### i. 関西地区キッズラクロス体験会(日本ラクロス協会主催)

- 開催日程:2022年5月4日、8月11日、11月5日
- 参加者数:36名

#### ii. 森の自由研究フェス(兵庫県尼崎市主催)

- 開催日程:2022年7月30日
- 参加者数:102名

#### iii. キッズフェス伊丹 2022(兵庫県伊丹市主催)

- 開催日程:2022年11月5日
- 参加者数:140名

#### iv. 小学生土曜学習プログラム(名古屋市教育委員会主催)

- 開催日程:2023年11月12日
- 場所:名古屋市立大宝小学校



- 参加者数:26名(低学年10名、高学年16名)

## ② フレッシュマンズキャンプ

地区ごとに、新規入部者である大学1年生を対象にしたキャンプ。大学生からラクロスを始めるものが多いため、新人選手への正しいラクロスの技術指導と競技者相互の親交を目的としており、ラクロスの技術向上、普及振興を期している。

地区	形式	開催日程	場所	参加者数	参加費
北海道	日帰り	[女子]2022年7月10日 ※男子は雨天により中止	なんぼろリバーサイド公園	30名	2,000円
東北	宿泊	2022年7月9-10日	岩手県八幡平鬼清水球技場	135名	26,500円
関東	宿泊	2022年5月28-30日 2022年6月4-6日 2022年6月25-27日 2022年7月2-4日 2022年7月9-11日	茨城県神栖市波崎	545名	38,000円
東海	宿泊	2022年6月25-26日	静岡県つま恋リゾート	265名	34,000円
関西	宿泊	2022年6月18-19日 2022年6月25-26日 2022年7月2-3日	大阪市舞洲運動広場	411名	26,040円
中四国	日帰り	[女子]2022年6月18日 [男子]2022年6月25日	愛媛県・大新田公園補助グラウンド	235名	[女子]3,000円 [男子]2,500円
九州	宿泊	[女子]2022年6月11-12日 [男子]2022年6月18-19日	佐賀県武雄市 白岩運動公園	171名	28,000円

## (6) 大会開催事業

各地区リーグ戦、各全国大会、国際交流試合などを本格的に再開させるとともに、多くの試合でオンライン配信を実現した。

### ① 学生リーグ戦

#### i. 第27回北海道学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年8月13日~10月15日
- 参加チーム数:[女子]5チーム / [男子]6チーム
- 試合数:全27試合
- 優勝チーム:[女子]北海道大学 / [男子]北海道大学

ii. 第 28 回東北学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年8月11日~10月23日
- 参加チーム数:[女子]5チーム / [男子]5チーム
- 試合数:全24試合
- 優勝チーム:[女子]東北大学 / [男子]東北大学

iii. 第 34 回関東学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年8月7日~12月17日
- 参加チーム数:[女子]22チーム / [男子]20チーム
- 試合数:全268試合
- 優勝チーム:[女子]慶應義塾大学 / [男子]慶應義塾大学

iv. 第 30 回東海学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年7月23日~10月16日
- 参加チーム数:[女子]11チーム / [男子]10チーム
- 試合数:全67試合
- 優勝チーム:女子の部 南山大学 / 男子の部 名古屋大学

v. 第 32 回関西学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年8月11日~12月10日
- 参加チーム数:[女子]17チーム / [男子]20チーム
- 試合数:全134試合
- 優勝チーム:[女子]関西学院大学 / [男子]京都大学

vi. 第 29 回中四国学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年7月10日~10月10日
- 参加チーム数:[女子]10チーム / [男子]8チーム
- 試合数:全39試合
- 優勝チーム:[女子]岡山大学 / [男子]広島大学

vii. 第 30 回九州学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年7月16日~10月22日
- 参加チーム数:[女子]12チーム / [男子]7チーム
- 試合数:全55試合
- 優勝チーム:[女子]福岡大学 / [男子]九州大学

## ② クラブチームリーグ戦

### i. 第 10 回北海道クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年7月10日~10月10日
- 参加チーム数:[男子]6チーム ※女子は開催なし
- 試合数:全7試合
- 優勝チーム:North AXIS

### ii. 第 31 回東日本クラブチームラクロスリーグ戦

※ 独立行政法人日本スポーツ振興センターよりくじ助成金の交付を受け、実施。

- 開催期間:2022年5月21日~12月17日
- 参加チーム数:[女子]6チーム / [男子チャンピオン]10チーム、[男子ファン]5チーム
- 試合数:全83試合
- 優勝チーム:[女子]NeO / [男子チャンピオン]FALCONS、[男子ファン] SugarRays

### iii. 第 7 回東海クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年7月9日~10月15日
- 参加チーム数:[女子]4チーム / [男子]4チーム
- 試合数:全20試合
- 優勝チーム:[女子]SELFISH / [男子]WOLVES

### iv. 第 28 回関西クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年7月17日~11月13日
- 参加チーム数:[女子]4チーム / [男子チャンピオン]5チーム、[男子ファン]4チーム
- 試合数:全34試合
- 優勝チーム:  
[女子]NLC SCHERZO / [男子チャンピオン]GOLD ZEALER、[男子ファン]かぶとむし

### v. 第 10 回中四国・九州クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2022年7月3日~10月29日
- 参加チーム数:[女子]4チーム / [男子]4チーム
- 試合数:全16試合
- 優勝チーム:[女子]SIRIUS / [男子]FERVIENTE

## ③ 全国選手権大会

### i. 第 13 回ラクロス全日本大学選手権大会

- 開催日程:2022年11月6日~11月27日



- 場所:東京・江戸川区陸上競技場
- 参加チーム:全日本大学選手権大会 優勝チーム(大学日本一)  
および 全日本クラブ選手権大会 優勝チーム(クラブチーム日本一)
- 優勝チーム:[女子]MISTRAL / [男子]FALCONS

[女子結果]



[男子結果]



④ 国際交流試合

i. ラクロス アジアチャレンジゲームズ 2022

[1 日目]

- 開催日程:2022年7月16日
- 場所:東京・大井ホッケー競技場メインピッチ
- 対戦カード:男子 21 歳以下日本代表 vs. 男子韓国代表

[2 日目]

- 開催日程:2022年7月17日
- 場所:東京・江戸川区臨海球技場
- 対戦カード:明治大学 vs. 男子韓国代表 / 東京農業大学 vs. 男子韓国代表

⑤ その他主催大会

i. 日本代表チャレンジ 2022

- 開催日程:2022年6月12日
- 場所:東京・江戸川区陸上競技場
- 対戦カード:  
【女子試合】日本代表 vs 全国選抜特設チーム  
【男子試合】21 歳以下日本代表 vs. 日本代表

ii. ラクロス SIXES 日本代表壮行試合

- 開催日程:2022年6月18日
- 場所:東京・江戸川区陸上競技場
- 対戦カード:  
【女子試合】SIXES 日本代表 vs. SIXES 関東選抜

## 【男子試合】SIXES 日本代表 vs. 10人制日本代表

### iii. 第1回ジュニアラクロスリーグ戦

場所:東京学芸大学附属世田谷小学校、他

[U-12 カテゴリ]

- 開催期間:2022年4月~2022年12月
- 参加チーム数:7チーム
- 優勝チーム:大田ラクロスクラブ

[U-10 カテゴリ]

- 開催期間:2022年4月~2022年12月
- 参加チーム数:8チーム
- 優勝チーム:大田ラクロスクラブ

[U-8 カテゴリ]

- 開催期間:2022年11月~2023年3月
- 参加チーム数:5チーム
- 優勝チーム:HAMALAX

### iv. 第3回関東ジュニアラクロス大会

- 開催日程:2022年12月11日
- 場所:東京・江戸川区臨海球技場
- 参加チーム:計20チーム
- 優勝チーム:

[U-12 カテゴリ]大田ラクロスクラブ

[U-10 カテゴリ]ラクロスアカデミージャパン

[U-8 カテゴリ]HAMALAX

## ⑥ 国際競技大会への日本代表派遣

### i. 2022 WORLD LACROSSE WOMEN'S WORLD CHAMPIONSHIP

- 開催日程:2022年6月29日~7月9日
- 場所:アメリカ合衆国・ボルチモア
- 派遣チーム:女子日本代表
- 参加国:29か国
- 大会結果(順位):5位

### ii. THE WORLD GAMES 2022

- 開催日程:

[男子大会]2022年7月8日~12日 / [女子大会]2022年7月12日~16日

- 場所:アメリカ合衆国・バーミンガム
- 派遣チーム:SIXES 男子日本代表、SIXES 女子日本代表
- 参加国:[男子大会]8か国 / [女子大会]8か国
- 大会結果(順位):[男子]3位・銅メダル / [女子]6位

### iii. 2022 WORLD LACROSSE MEN'S U21 WORLD CHAMPIONSHIP

- 開催日程:2022年8月10日~20日
- 場所:アイルランド・リムリック
- 派遣チーム:U21 男子日本代表
- 参加国:23か国
- 大会結果(順位):5位

### **(7) 広報普及活動**

広報活動に関しては、機関誌の発行をはじめ、公式 web や SNS 等で情報発信の迅速性、正確性、網羅性、品質向上を目指し、更なるコミュニティ活性化を推進させている。安全対策については、医科学委員会が全国の安全対策代表者と連携し、実地講習会や WEB セミナーなどを通して安全対策に対する啓発活動を行っている。

#### ① 機関誌(e-book)発行

- 名称:JLA 機関誌 LACROSSE MAGAZINE JAPAN yearbook 2021-2022
- 公開日:2022年6月30日
- URL: <https://www.lacrosse.gr.jp/ebook/lacrossemagazinejapan2022/>

#### ② WEB/SNS での情報発信強化

[Web サイト PV 数(2022年4月1日~2023年3月31日)]

- JLA 公式サイト:1,757,884 PV
- ラクロスマガジン web:91,679 PV

[SNS フォロワー数(2023年3月時点)]

- 公式 Instagram  
JLA:3,206 / ラクロスマガジン:2,358 / フォトグラファー:1,668 / 北海道地区:628  
 / 東北地区:737 / 関東地区:3,656 / 東海地区:1,062 / 関西地区:1,644  
 / 中四国地区:1,050 / 九州地区:738 / 国際部:988 / 男子日本代表:6,407  
 / 女子日本代表:2,581
- 公式 Twitter

JLA:8,809

③ 試合のオンライン配信 (Japan Lacrosse Live)

[配信実績(2022年4月-2023年3月)]

- 配信動画数:274本
- 総視聴回数:157,873回

④ 第27回ラクロス献血推進キャンペーンの実施

ラクロス関係者の社会貢献活動の一環として、血液が不足する春頃に毎年行う活動。2023年3月3日~31日に各地区で実施した。総受付数は1520名。

[受付数:地区毎内訳]

北海道	東北	関東	東海	関西	中四国	九州
125	53	409	83	606	166	78

⑤ 2022年医科学委員会主催 ラク로스医科学セミナー

医科学委員会により、『自分軸を持ち、大舞台で実力発揮を促すプロセス思考』、『アンチ・ドーピング委員会からの情報提供』をテーマに、主に競技者を対象にしたオンラインセミナーを実施。

- 開催日程:2022年6月26日
- 参加者数:172名

⑥ アンチ・ドーピング委員会の活動

i.公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への新規加盟

- 加盟承認日:2022年4月1日

ii.アウトリーチ活動(試合会場でのアンチ・ドーピング啓発活動)

- 開催日程:2022年11月27日
- 場所:駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
- 内容:第13回全日本大学選手権大会の決勝戦会場におけるブース出展
- 参加者:120名